



THE WWE JAPAN TIMES

31. May 2017 第69号

WWE Japan 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-12 道玄坂今井ビル3F
TEL.03-5456-6050 / Email: infojapan@wwe.com

このニュースレターは世界最大級のエンターテインメント「WWE」から毎月の日本での放送を元に、ドラマさながらのストーリー展開をダイジェストにしてお送りしております。

PPV「バックラッシュ」でついにSDデビュー戦 中邑真輔がジグラーと対戦へ!!



ついに中邑真輔のSmackDownデビュー戦が決まった。SmackDown (#925)でジグラーがリングに現れると「スマックダウンで試合すらしていない奴を応援して、入場曲が流れると合唱を始める。普通自分のことをアーティストなんて呼ばないぜ。」と中邑を侮辱した。

すると中邑が入場。「お前の入場にはうんざりだ」と言うジグラーのマイクを中邑が取り上げると「黙れ！俺に何ができるか見たいのか？なら今見せてやる」と臨戦態勢に入る両者。しかし、ジグラーが突然「いつやるかは俺が決める。バックラッシュでお前が偽物だと暴いてやる。」とPPVでの対戦を要求すると、自身のジャケットを中邑の顔に投げつけて襲い掛かった。乱闘となる両者だったが、中邑がジグラーを返り討ちにした。

中邑のデビュー戦となるPPV「バックラッシュ」はWWEネットワークをご覧ください。

マハルがタッグ戦でオートンを破る!

ジンダー・マハルの勢いが止まらない。SmackDown (#922)でWWE王座挑戦権を賭けたシックスパックチャレンジ戦でマハルが勝利し、WWE王座挑戦が「バックラッシュ」で決定。翌週SmackDown (#923)ではマハルとシンブラザーズが試合後のオートンを襲撃して王座ベルトを強奪するとそのまま逃走。SmackDown (#925)ではオートン、マハルを含めた6人タッグ戦ではマハルがコブラクラッチスラムでオートンを沈めて勝利を挙げた。

「祖国インドに王座を持ち帰る」と豪語するマハルがこれを実現するのか？それとも「王座を防衛する」と宣言したオートンがその実力を証明し、返り討ちにするのか？PPV「バックラッシュ」は見逃せません。



RAW (#1247)では謹慎を命じられたはずのストローマンがカリストをゴミ箱に投げつけやりたい放題。これにビック・ショーが立ち上がり、巨人対決が実現。しかも衝撃の結末が待っていた。試合終盤にコーナー上に向かうショーをストローマンがスーパープレックスを決めるとその衝撃でリングが音を立てて崩壊。会場のファンは驚きで息を飲んだ。

RAW (#1250)ではストローマンがカリストと対戦。すると試合中に因縁のレインズがリングに突如現れ、スーパーマンパンチを3連発、さらに鉄柱攻撃、イス攻撃と手段を選ばず攻撃し、報復を果たした。

「レインズ潰し」をするストローマンに報復するレインズ。激しさを増す2人の抗争はどのような結末を迎えるのでしょうか。今後の展開に注目です。

やりたい放題のストローマンにレインズが報復

日本公演の対戦カードが決定!!

日本公演の対戦カードが発表されました。ロマン・レインズとセス・ロリンズはブレイ・ワイアット、サモア・ジョーとそれぞれシングル戦、及びタッグ戦で対戦します。フィン・ベイラーはカール・アンダーソンとのシングル戦とフェイタル4ウェイC王座戦、また日本公演初登場となるエンツォ・アモーレ&ビック・カスの対戦カードも発表しています。日本人スーパースターではイタミ・ヒデオがクリス・ジェリコとシングル戦、戸澤陽はクルーザー級タイトルのトリプルスレット戦、そしてその2人がタッグを組んでギャローズ&アンダーソン組とのタッグ戦に挑みます。「WWE Live Tokyo」にご期待ください!



DAZNで「ロウ」「スマックダウン」生中継

「ロウ」生中継：火曜午前9:00～
「スマックダウン」生中継：水曜午前9:00～
※生中継終了後、ビデオオンデマンド方式で視聴可能です。

「NXT」「205 Live」「PPV」はWWEネットワークで!

「NXT」：木曜午前9:00～
「205 Live」：水曜午前11:00～
※PPV大会の詳細に関してはWWE公式サイトでご確認ください。



「ロウ」

英語版初回放送：木曜午前10:00～ J SPORTS 4
字幕版初回放送：木曜午後10:30～ J SPORTS 3

「アフターバーン」※スマックダウン ハイライト

英語版初回放送：土曜午前10:00～ J SPORTS 4
字幕版初回放送：月曜午後 6:00～ J SPORTS 3

※ 英語版・字幕版ともリピート放送あり。放送時間は変更になる場合があります

ハイライト番組「This Week」、は以下各局で!

サムライTV	毎週水曜 午後11時00分～	群馬テレビ	毎週日曜 午後9時30分～
TOKYO MX	毎週土曜 深夜1時00分～ (TOKYO MX2にて放送)	サンテレビ	毎週金曜 深夜2時10分～
tvk	毎週土曜 深夜1時30分～	テレビ熊本	毎週金曜 深夜3時05分～
		テレ玉	毎週土曜 深夜1時30分～



このページではWWEネットワークからのトピックスをご紹介します。

GTS決めるも、グロリアスDDT2連発で撃沈 ヒデオ・イタミがNXT王座挑戦も敗退!!



5月20日(米国現地時間)「NXTテイクオーバー:シカゴ」が開催され、2度の怪我を乗り越えて、ついにボビー・ルードとのNXT王座戦に挑んだヒデオ・イタミ。試合は激しい攻防を展開し、コーナーにいるヒデオに襲い掛かったルードが自爆してコーナーポストに衝突。これで左肩を痛めたルードはグロリアスDDTを狙うも決められない。今度はヒデオが串刺しドロップキックをルードに決めるが、逆に左ヒザを痛めてしまい、続けてGTSを繰り返すも崩れ落ちてしまう。満身創痕の両者だったが、隙を突いたルードが痛みを堪えながらグロリアスDDTを決めるもカウント2。今度はヒデオがルードを捕まえるとGTSを炸裂。しかし、その勢いでルードは場外に落ちて何とかカウントを逃れた。その後、ヒデオは6発連続の強烈な平手打ちを見舞って再びGTSを狙うが、これを抜け出したルードにグロリアスDDTを2発連続で決められると勝負あり。ルードがヒデオを沈めて、NXT王座防衛を果たした。

ヒデオは敗戦したものの、王者相手に一步も引かない試合で観客を魅了した。

アスカ防衛成功!!

貫禄の勝利でニッキー、ルビーを退ける

「NXTテイクオーバー:シカゴ」で無敗のNXT女子王者アスカはニッキー・クロス、ルビー・ライオットを相手にトリプルスレット戦に挑んだ。ニッキーがいきなり2人を襲撃して試合はスタートするも、アスカはヒップアタック、ドロップキック、アングルロックと試合を優勢に進めた。しかし、ニッキーが襲い掛かるアスカをリングカバーを使って挟み込むとエルボーを連打してアスカを圧倒。窮地に陥ったアスカは続けて場外に落とされてしまう。その後、ルビーがニッキーに延髄斬りを決めてフォールすると、アスカが素早くリングに戻りスライディングキックでカット。そのままアスカが2人まとめてフォールして勝利を取めた。



ますます激しさを増す戸澤とケンドリックの抗争。205Live(#26)ではこの抗争にケリを付けるため、ストリート・ファイトで対戦した。試合は戸澤のダイブ攻撃で先制すると、続けて実況席にケンドリックを投げつけ、リングに戻るとセントーンを決めて、試合を優勢に進めた。しかし、ケンドリックが粘着テープを持ち出すと、戸澤の口をテープで閉じてキャプテンズ・フックを決め、さらに、テープで戸澤をリングポストに固定し、ムチ打ち攻撃で戸澤を苦しめる。その後も場外でお互いの意地がぶつかる激しい攻防を展開するも、最後はケンドリックが乗ったテーブルに戸澤がトップロープから豪快にセントーンを決めて快勝。ストリート・ファイト戦を戸澤が制した。果たして両者の抗争はこれで決着となるのでしょうか?今後の展開に注目です。

戸澤がケンドリックとストリート・ファイト戦

アスカ、ゴールドバグを抜き、 WWE史上最長174連勝記録を達成!!

日本時間5月21日(日)に開催された「NXTテイクオーバー:シカゴ」で王座防衛に成功したアスカ。2015年10月7日のデビュー戦以来いまだ守り抜かれている連勝記録を174に伸ばし、WWE史上最長となる快挙を果たしました。アスカは「ゴールドバグを心より尊敬している。彼は素晴らしい。そんな中、WWE史上最長の連勝記録を保持する王者になることを誇りに思う。」とコメントしている。



PPV「バックラッシュ」絶賛公開中



中邑のスmackダウンデビュー戦!!

アートワークはデビュー戦を前に異例とも言える中邑全面フィーチャーで注目を集めた。中邑のスmackダウンデビュー戦を見逃すな。

次回PPV「エクストリーム・ルールズ」

王者レスナーに挑む挑戦者が決定する!

5WAY形式ユニバーサル王座挑戦者決定戦にレイズ、ロリンズ、ジョー、ベイラー、ワイアットが挑む。波乱必死の闘いがここにある。

日本時間6月5日(月)配信



「WWE」の最新情報は、日本語公式WEBサイト/WWEモバイル/ツイッター/Facebook/WWEネットワーク/WWE Live Japan特設サイトで!



<http://wwe.co.jp>



<http://m.wwe.co.jp>



<https://www.dazn.com>



<http://www.jsports.co.jp>



@WWEJapan
をフォロー



「WWE Japan」
で検索



<http://network.wwe.com>



<http://www.wwe.co.jp/wwelive>